

For New Technology Network



2014年3月期
第2四半期 決算説明会

2013年11月7日

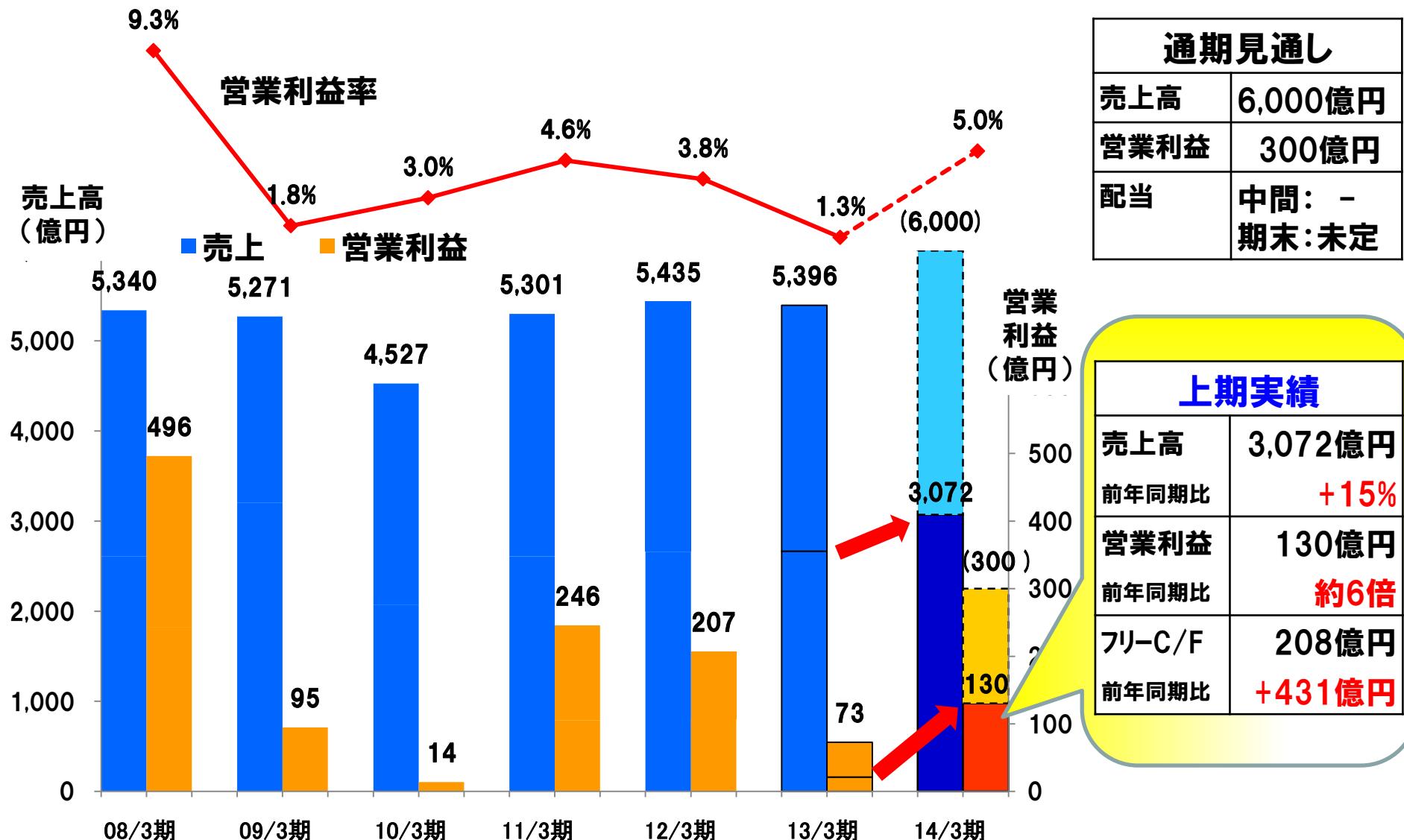
NTN株式会社

- I. 2014年3月期第2四半期決算
- II. 中期経営計画「復活2014」の進捗
- III. 質疑応答

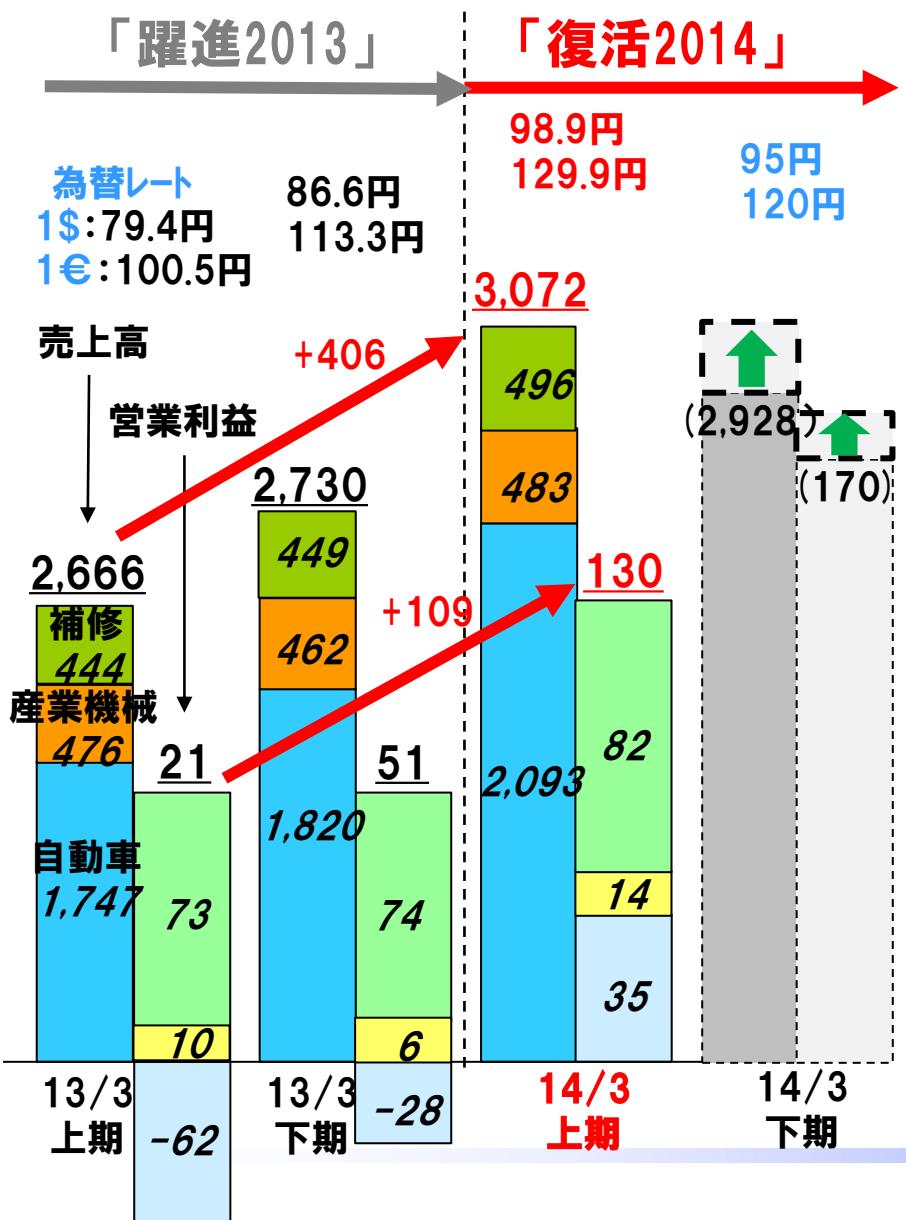
- 本資料、プレゼンテーションおよび引き続き行われる質疑応答の際の回答には、将来の業績見通し、事業戦略が含まれており、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいております。
- これらの将来的予測に基づく記載や発言は将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が製品に対する需要変動、為替変動、金利変動、偶発債務などの様々な要素により、業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

I. 2014年3月期第2四半期決算

2014年3月期第2四半期決算のポイント



上期実績と下期見通し



上期実績

売上高:3,072億円

前年同期比+406億円、約15%増加
・自動車向けが約20%増加
・欧州が約35%増加

営業利益:130億円

前年同期比+109億円、約6倍に増加
「復活2014」の各種施策の効果

- ・比例費削減
- ・固定費削減
- ・棚卸資産の削減

下期見通し

連結合計では計画達成の見通し
さらに為替効果も期待

1. 連結損益

単位: 億円

	前期('13年3月期)			今期('14年3月期)		対前期増減	
	上期	下期	通期	上期	通期 前回公表	'14年3月期 上期	'14年3月期 通期
	①	②	②	③	④	③-①	④-②
売 上 高	2,666	2,730	5,396	3,072	6,000	406	604
営 業 利 益	21	51	73	130	300	109	227
(営業利益率) (%)	(0.8%)	(1.9%)	(1.3%)	(4.2%)	(5.0%)	(3.4%)	(3.7%)
経 常 利 益	△ 15	41	25	103	230	119	205
特 別 損 益	△ 7	△ 157	△ 164	△ 16	△ 40	△ 9	124
当 期 純 利 益	△ 17	△ 125	△ 142	34	100	52	242

為 替 US\$	79.4	86.6	82.9	98.9	95.0	19.5	12.1
レ - ト EURO	100.5	113.3	106.8	130.0	120.0	29.4	13.2

2. 地域別売上高

<地域別売上高>

単位: 億円

	前期('13年3月期)			今期('14年3月期)		対前期増減		
	上期 実績	下期 実績	通期 実績	上期 実績	通期 前回公表	'14年3月期上期 量	'14年3月期通期 為替	前回公表
日本	933	842	1,775	851	1,636	△ 82	0	△ 139
米州	678	738	1,416	854	1,698	11	165	282
欧州	593	655	1,248	798	1,436	28	177	188
アジア他	463	495	958	569	1,230	△ 1	107	272
合計	2,666	2,730	5,396	3,072	6,000	△ 44	450	604

3. 事業形態別売上高・営業利益

<事業形態別売上高>

単位:億円

	前期('13年3月期)			今期('14年3月期)	
	上期 実績	下期 実績	通期 実績	上期 実績	通期 前回公表
補修	444	449	892	496	1,050
産業機械	476	462	937	483	970
自動車	1,747	1,820	3,566	2,093	3,980
合計	2,666	2,730	5,396	3,072	6,000

対前期増減		
'14年3月期上期		'14年3月期通期 前回公表
量	為替	
△ 25	77	158
△ 56	63	33
36	310	414
△ 44	450	604

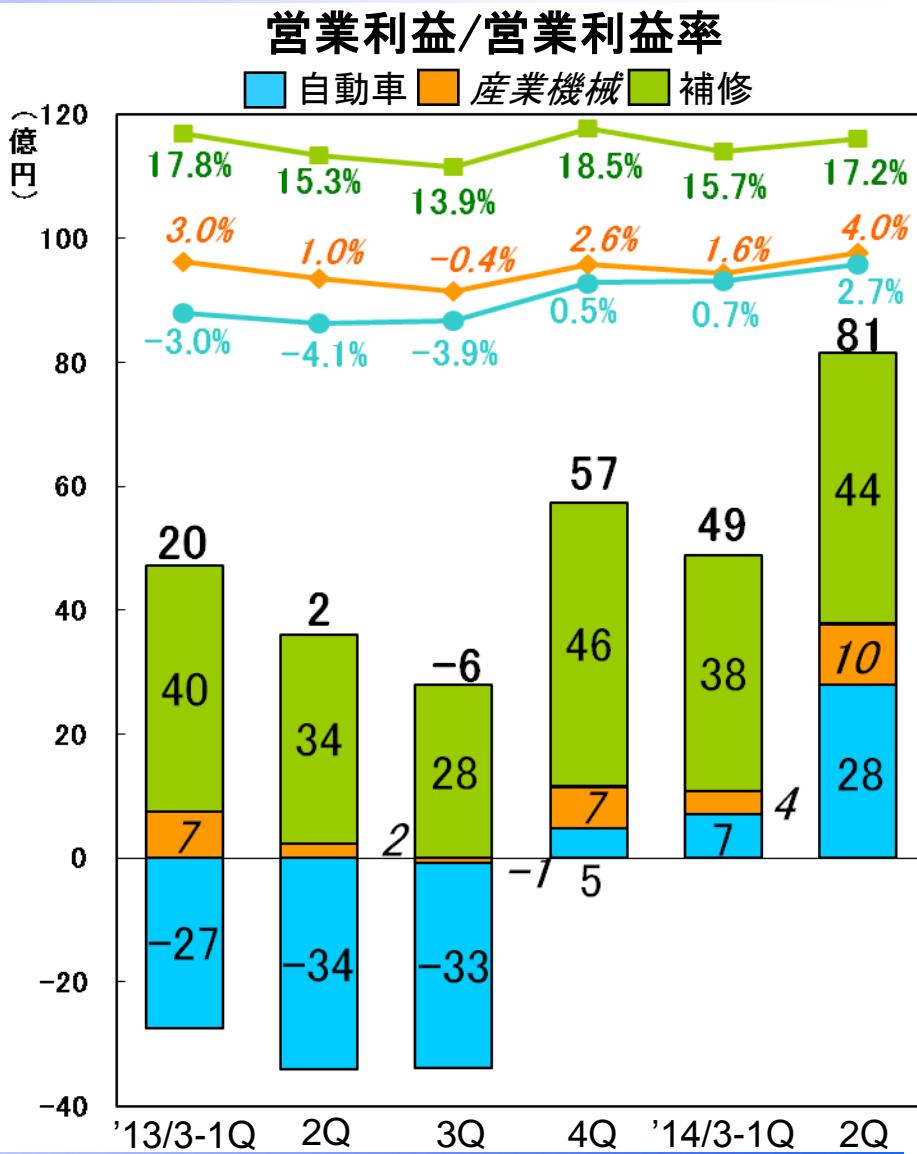
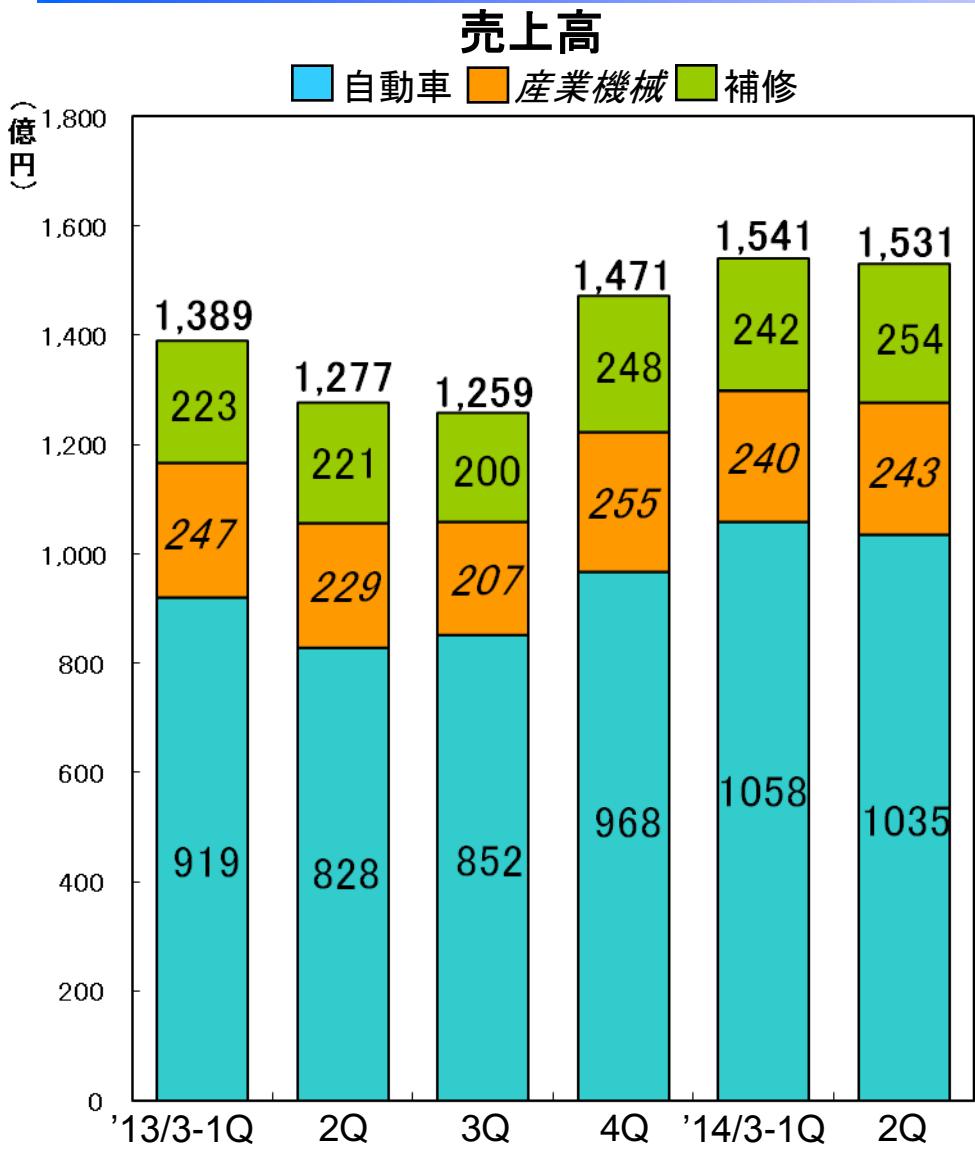
<事業形態別営業利益>

単位:億円

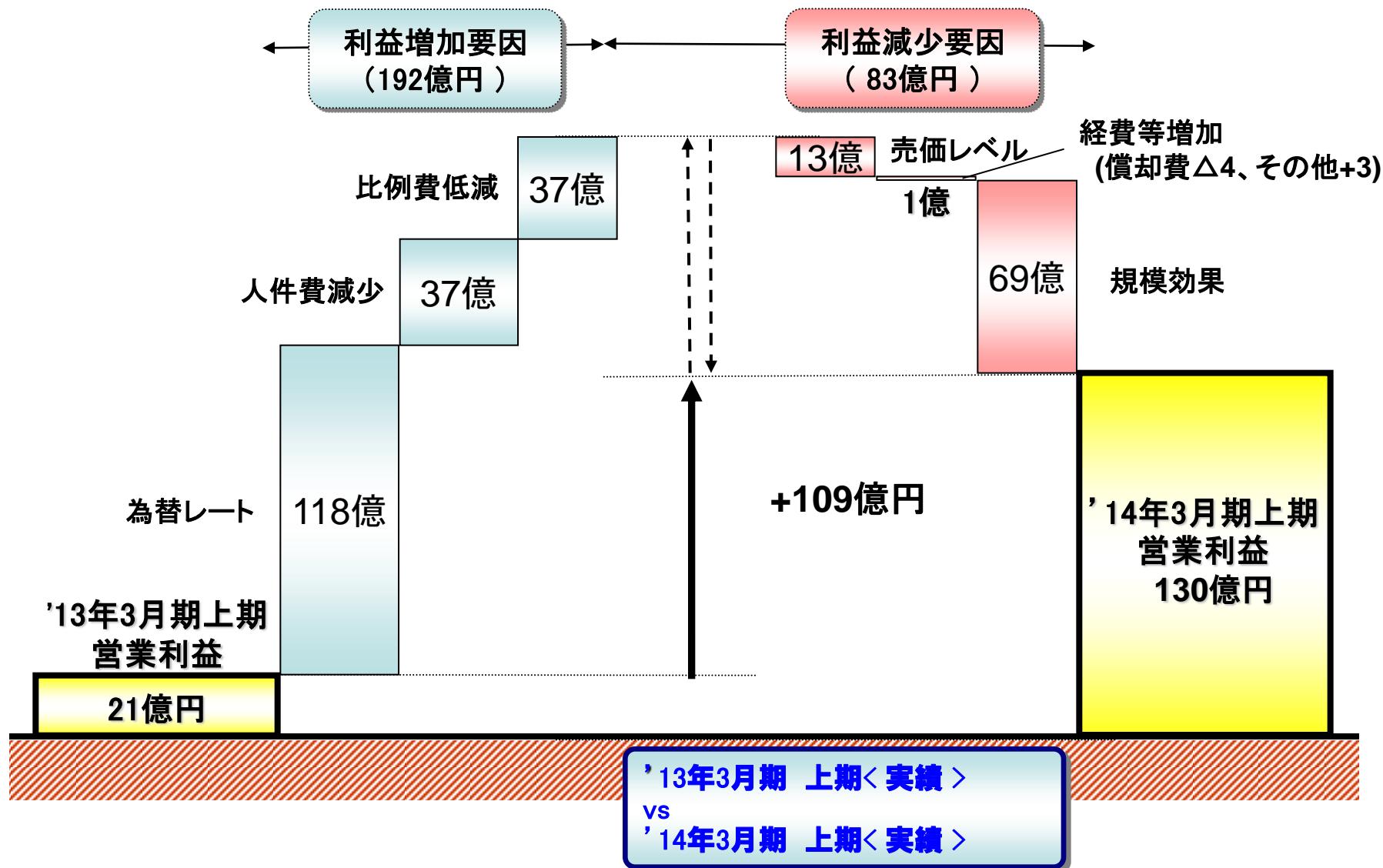
	前期('13年3月期)			今期('14年3月期)	
	上期 実績	下期 実績	通期 実績	上期 実績	通期 前回公表
補修	73	74	147	82	210
産業機械	10	6	15	14	30
自動車	△ 62	△ 28	△ 90	35	60
合計	21	51	73	130	300

対前期増減		
'14年3月期上期		'14年3月期通期 前回公表
8	63	
4	15	
97	150	
109	227	

4. 事業形態別業績(四半期推移)

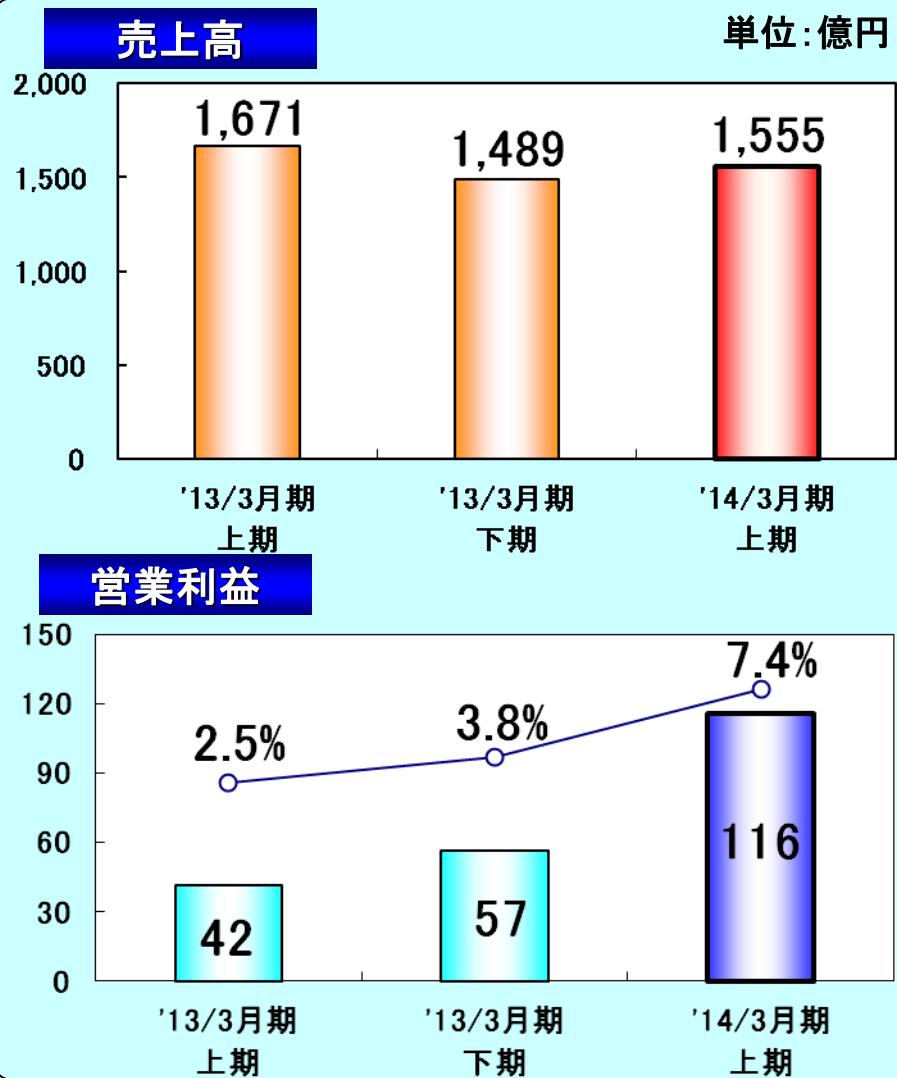


5. 営業利益増減 ('14年3月期上期)

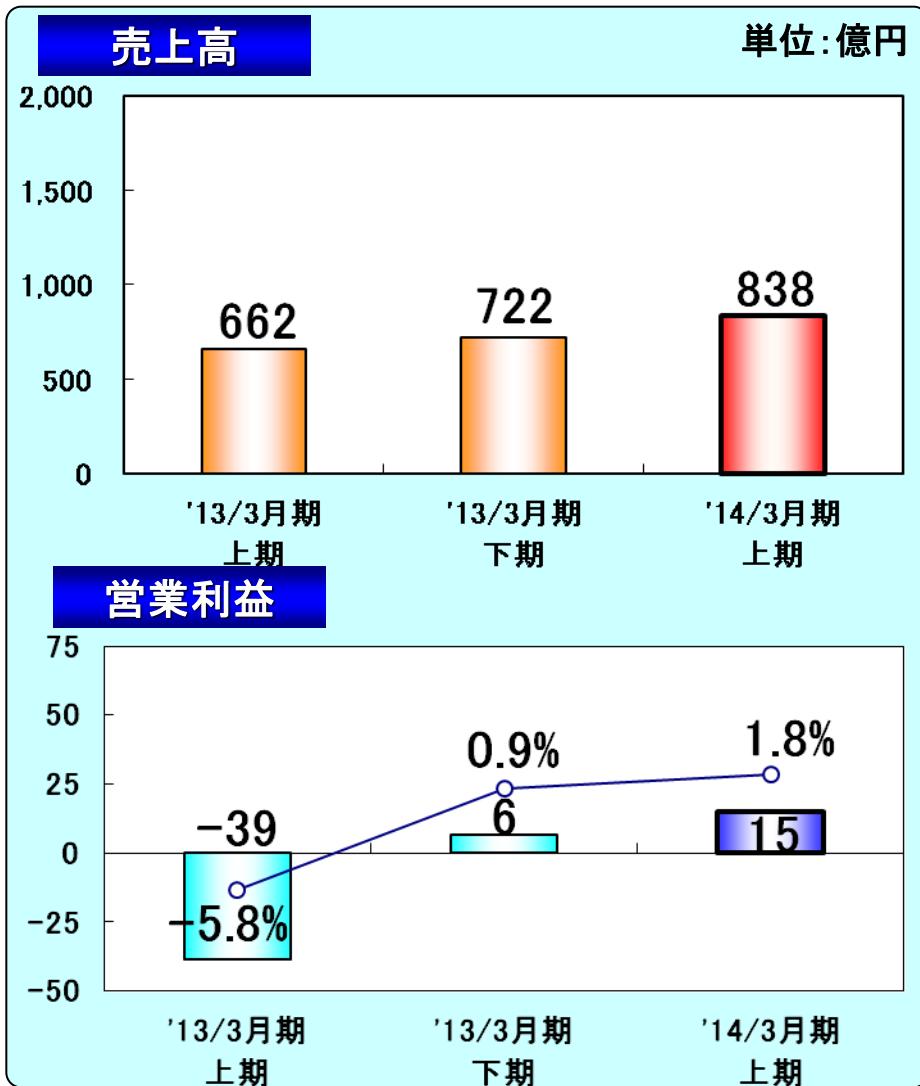


6. 所在地別 売上高・営業利益（日本・米州）

《 日 本 》

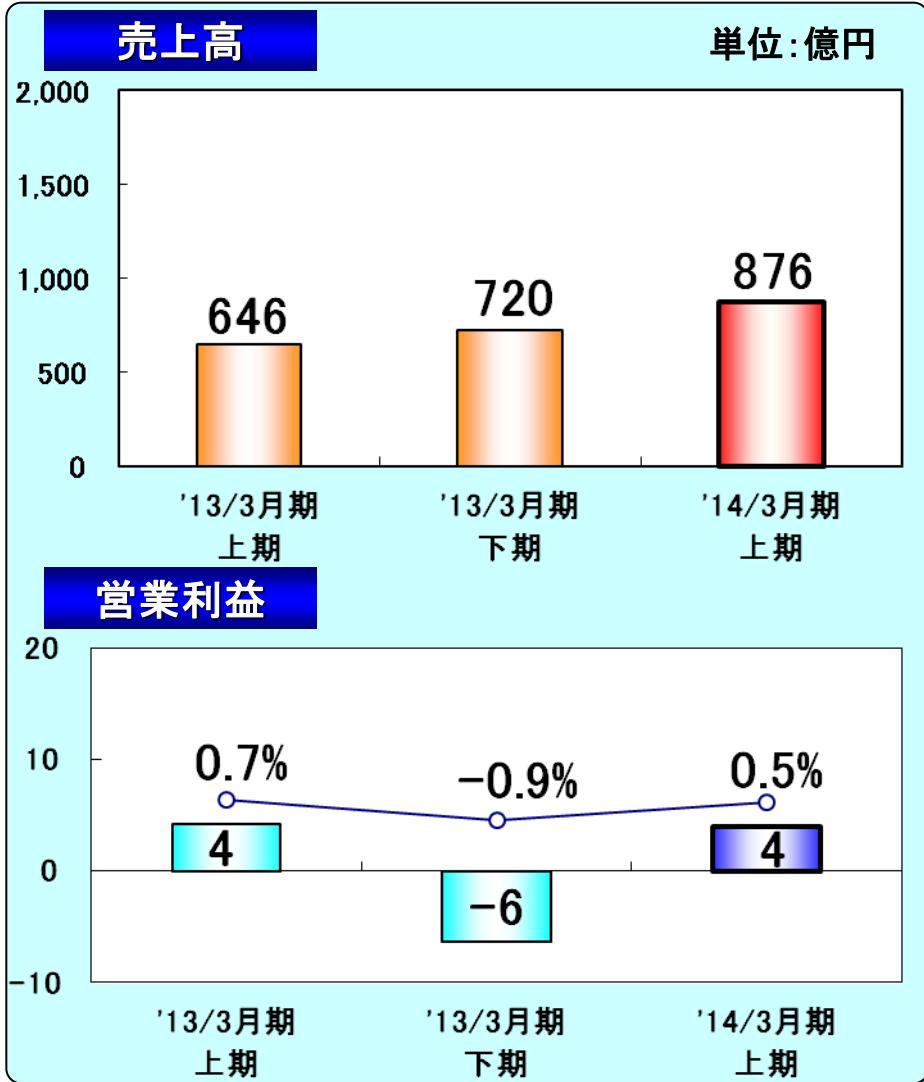


《 米 州 》

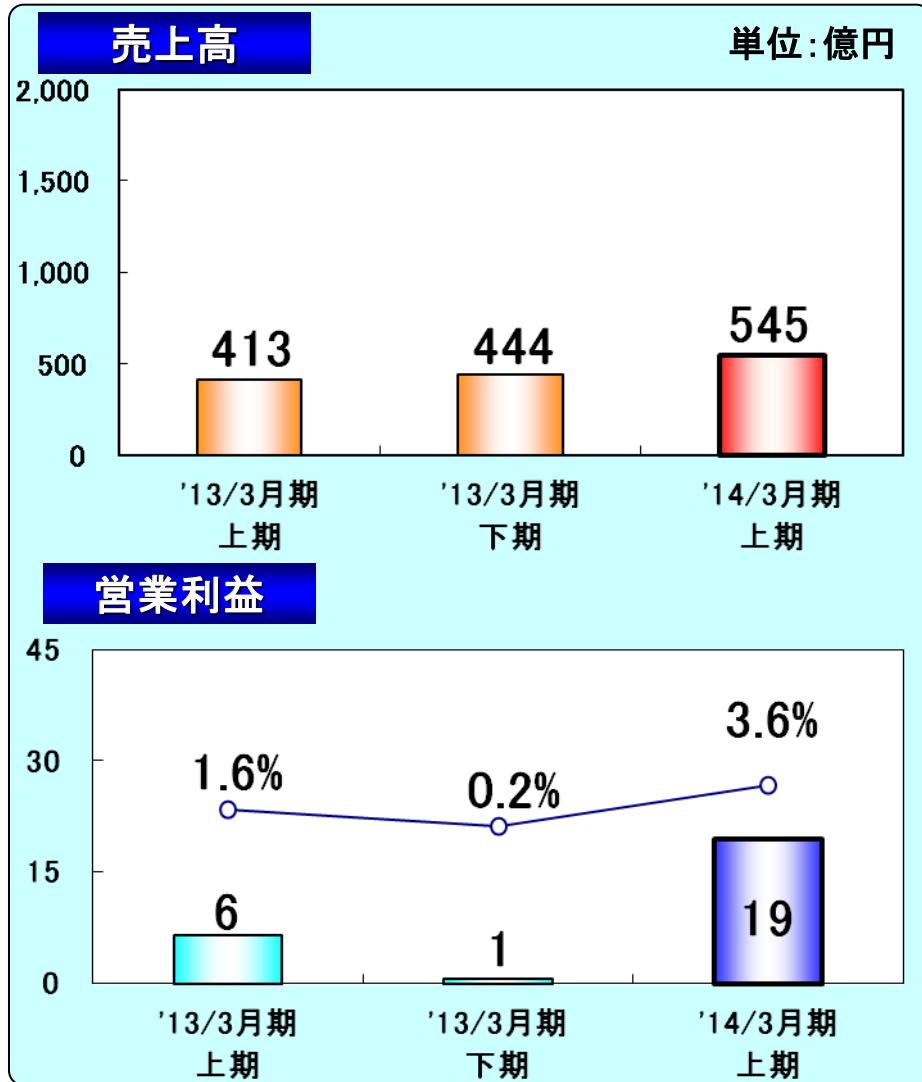


6. 所在地別 売上高・営業利益（欧州・アジア他）

《 欧 州 》

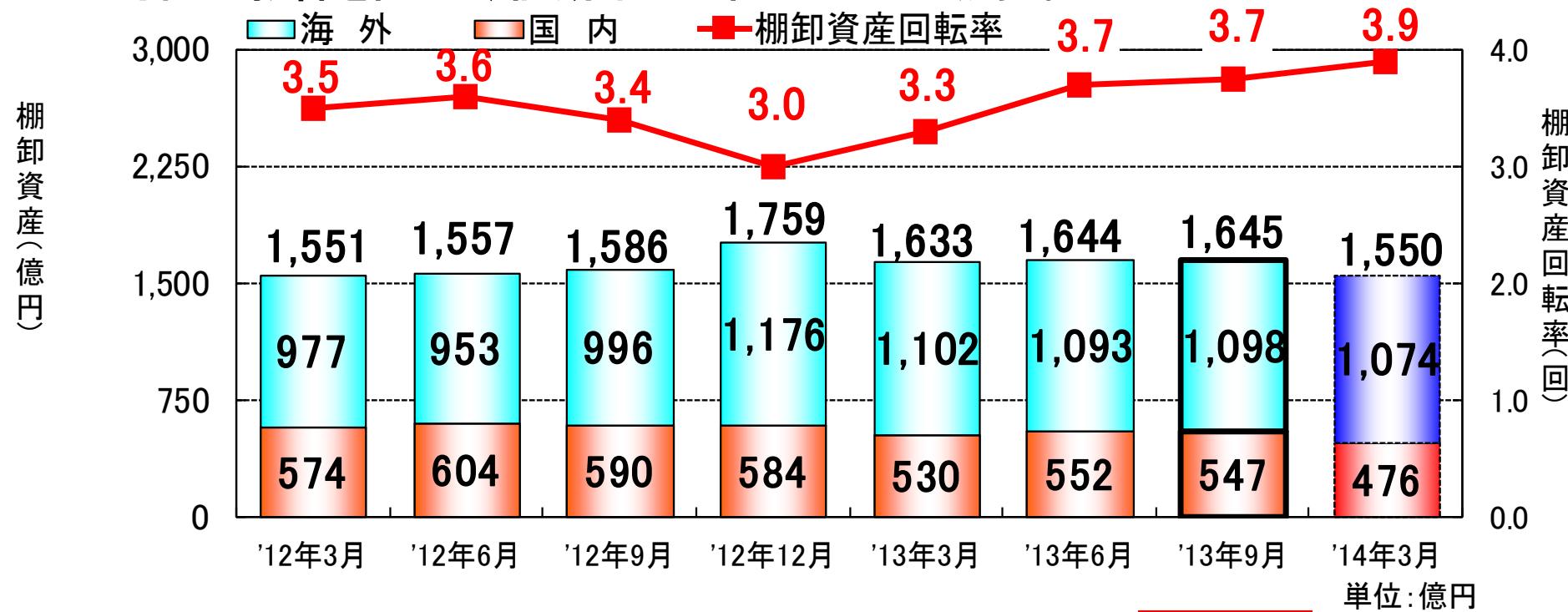


《 アジア他 》



7. 棚卸資産

◆為替の影響を除くと、前期末比で国内外共に減少。

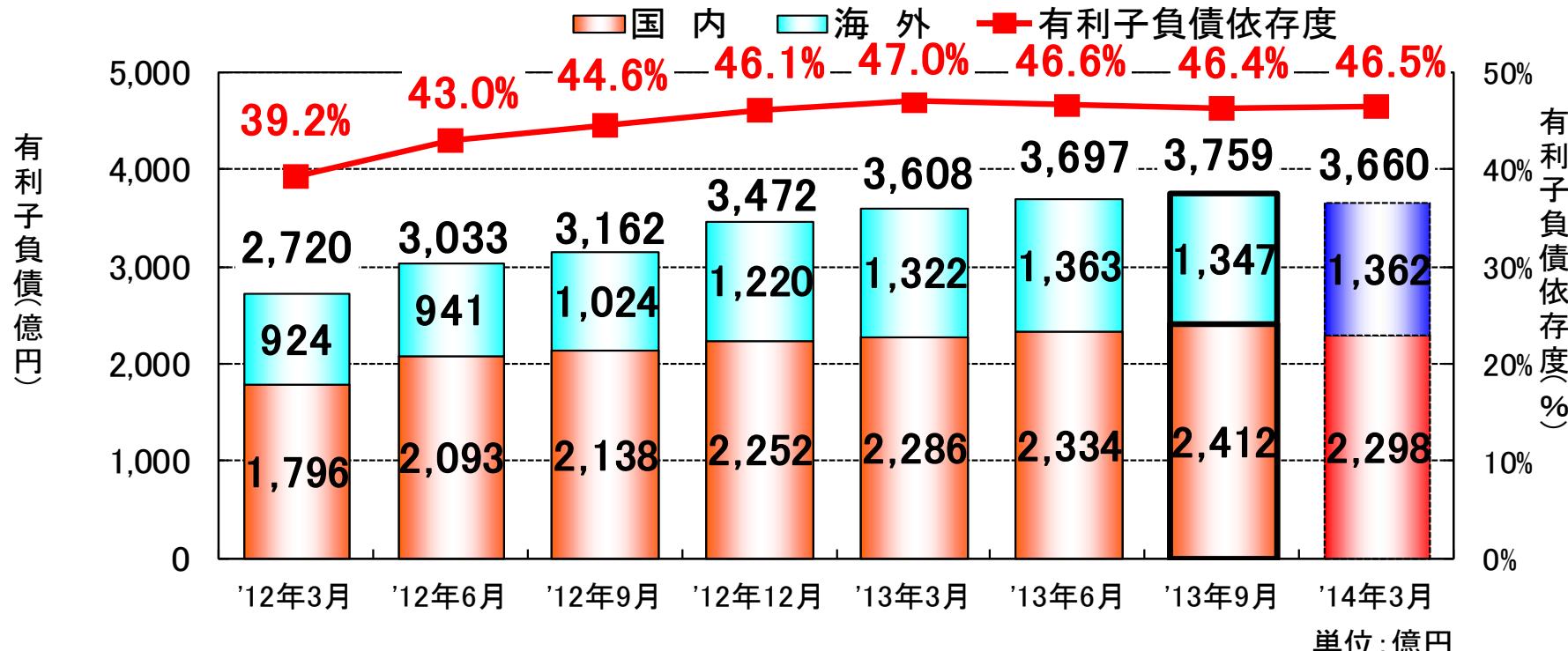


単位: 億円

	'12年3月 実績	'12年6月 実績	'12年9月 実績	'12年12月 実績	'13年3月 実績	'13年6月 実績	'13年9月 実績	'14年3月 前回公表
棚 卸 資 產 (海 外)	1,551	1,557	1,586	1,759	1,633	1,644	1,645	1,550
(国 内)	(977)	(953)	(996)	(1,176)	(1,102)	(1,093)	(1,098)	(1,074)
棚卸資産回転率	3.5回	3.6回	3.4回	3.0回	3.3回	3.7回	3.7回	3.9回

8. 有利子負債

◆ 手持ち資金の増加と為替の影響により増加。依存度は改善



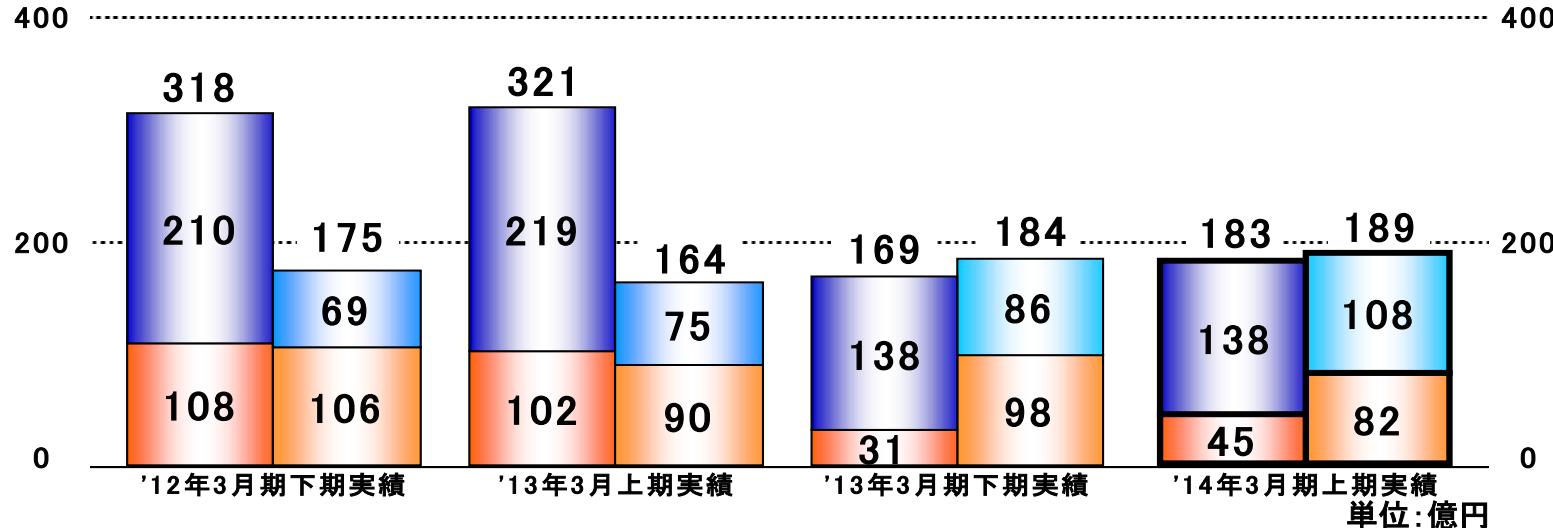
単位: 億円

	'12年3月 実績	'12年6月 実績	'12年9月 実績	'12年12月 実績	'13年3月 実績	'13年6月 実績	'13年9月 実績	'14年3月 前回公表
有利子負債 (海外)	2,720	3,033	3,162	3,472	3,608	3,697	3,759	3,660
(国内)	(924)	(941)	(1,024)	(1,220)	(1,322)	(1,363)	(1,347)	(1,362)
有利子負債依存度	39.2%	43.0%	44.6%	46.1%	47.0%	46.6%	46.4%	46.5%

9. 設備投資・減価償却費

◆設備投資の抑制により、上期の投資額は償却の範囲内。

(単位: 億円)



単位: 億円

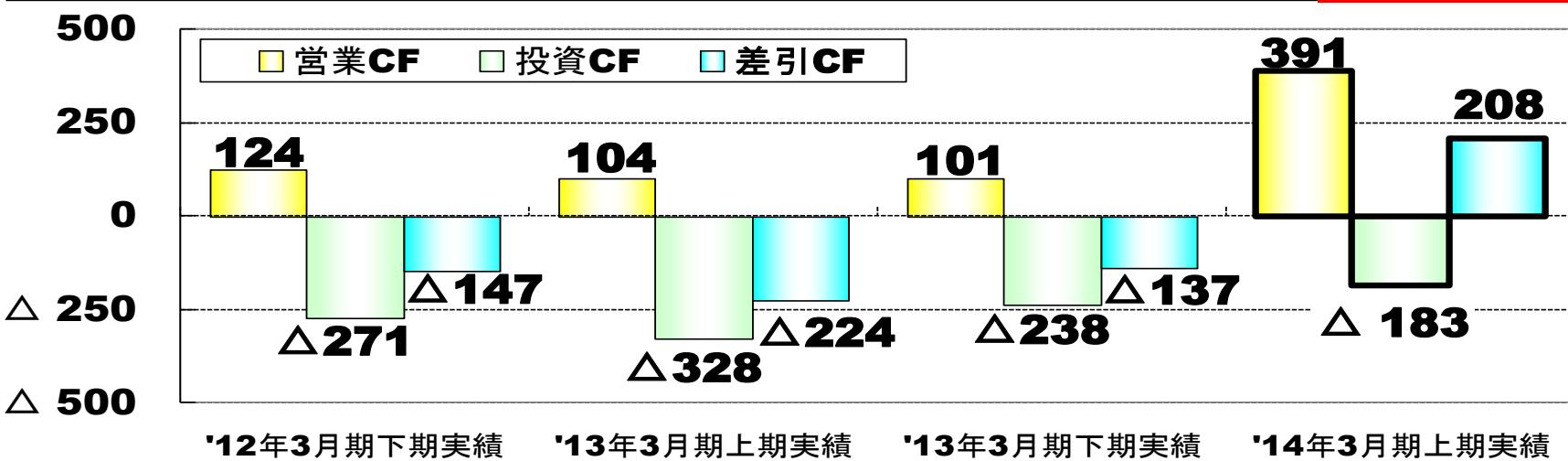
	'12年3月期 下期実績	'13年3月期 上期実績	'13年3月期 下期実績	'14年3月期 上期実績
設 備 投 資 (海外)	318 (210)	321 (219)	169 (138)	183 (138)
(国内)	(108)	(102)	(31)	(45)

	'12年3月期 下期実績	'13年3月期 上期実績	'13年3月期 下期実績	'14年3月期 上期実績
減 価 償 却 費 (海外)	175 (69)	164 (75)	184 (86)	189 (108)
(国内)	(106)	(90)	(98)	(82)

10. キャッシュ・フロー

◆ 営業CFの増加及び投資CFの抑制により、フリーCFは黒字化。

(単位:億円)	'12年3月期 下期実績	'13年3月期 上期実績	'13年3月期 下期実績	'14年3月期 上期実績
I. 営業活動による キャッシュ・フロー	124	104	101	391
II. 投資活動による キャッシュ・フロー	△271	△328	△238	△183
III. 財務活動による キャッシュ・フロー	368	470	226	81
IV. 現金及び現金同等物 に係る換算差額等	△11	17	△17	10
V. 現金及び現金同等物の 増加額	211	263	72	298



II.中期経営計画「復活2014」の進捗

中期経営計画「復活2014」の進捗

次なる成長に向けた「経営資源の集中」

「復活」から
「攻め」へ



アフターマーケット事業本部 10月1日
発足

産業機械事業本部

自動車事業本部

EVモジュール事業本部

複合材料事業本部

①技術サービスによる
アフターマーケット事業拡大

②産業機械事業の
グローバル強化

③自動車事業の
収益改善

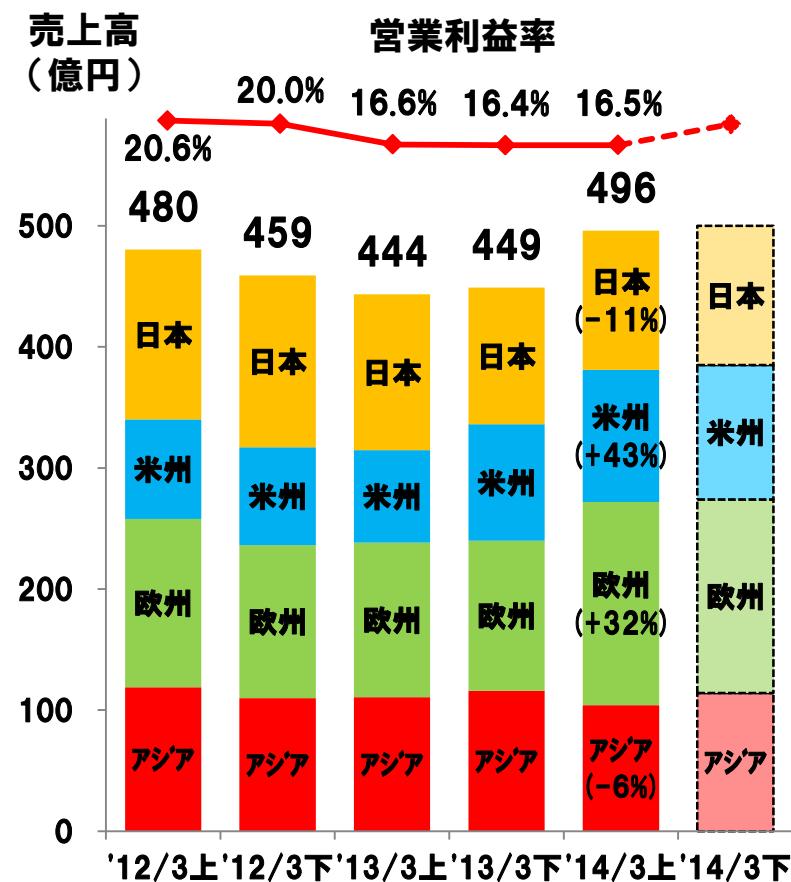
市場
顧客
代理店
エント
ユーザ

“エンジニアリング”力を最大化する組織体制へ

補修市場向け実績と見通し

<上期実績（対13/3上期）>

- ・米州は自動車補修向けが約3倍に増加、産機補修は大手代理店との協業強化
- ・欧州でも自動車補修向けが増加、アジアは市況悪化により代理店の発注抑制



<下期見通し>

日本

代理店からの在庫オーダー獲得
キャラバンカー活動によるサービス強化

米州

北米大手代理店と新規顧客開発
自動車向けオートパーツの販売拡大

欧州

設備補修(MRO)案件の獲得推進
ロシア・東欧の代理店からの受注増加

アジア

技術キャラバンによるMRO案件の拡大
中国などで自動車補修品の販売増加

アフターマーケット事業の強化施策

① 社内組織体制

- ✓ アフターマーケット事業本部を設立(2013年10月1日付)

マーケティング
の強化

② 販売・供給体制

- ✓ 販社の拡大、代理店網の拡充、再編成
- ✓ 専用工場の新設、中央倉庫の設置

サプライチェーン
の強化

③ 商品力

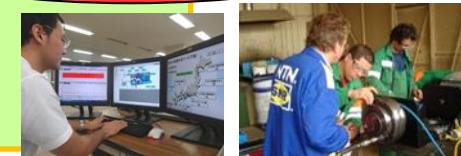
- ✓ 汎用品から高品質、高付加価値商品へ
- ✓ 周辺部品との組み合わせキットのノウハウ



商品・技術サービス
による販売拡大

④ 技術サービス力

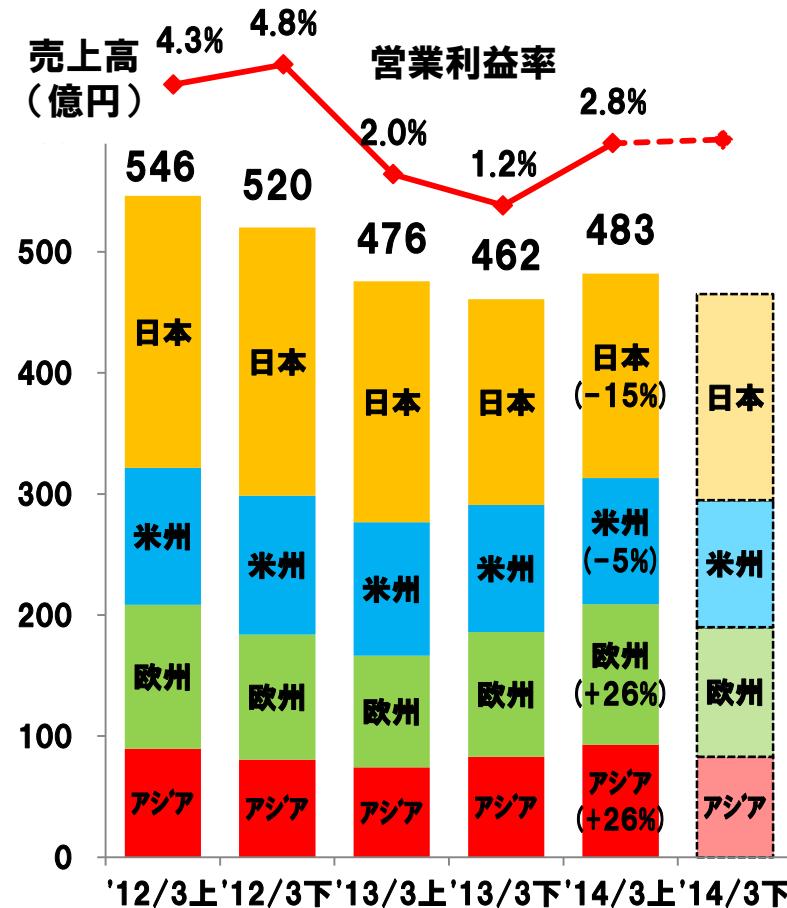
- ✓ モニタリングやデータ解析などの設備診断技術
- ✓ 軸受やメンテナンスツールの取扱いを技術指導



産業機械市場向け実績と見通し

<上期実績（対13/3上期）>

- ・中国では、風力発電向けが大幅回復、鉄道車両や建設機械向けなども増加
- ・日本と米州で建設機械、鉱山機械向けが大幅減、航空機は世界各地で好調



<下期見通し>

日本

航空機・工作機械で受注拡大
風力発電は需要減

米州

農業機械向け新規受注と需要増
建設機械は緩やかに回復見込み

欧州

航空機、鉄道車両、農業機械向けが
増加するも、建機、変速機など減少

アジア

中国の建機や工作機械が増加するも
風力発電向けが季節要因で減少

産業機械事業のグローバル拡大

For New Technology Network



工作機械



高速・環境適応技術で
新規案件獲得

鉄道車両



日・欧の生産拡大
高速技術でシェア拡大

風力発電



日・中・欧で生産対応
CMSのグローバル展開

最先端技術、
4極生産体制で
グローバル事業拡大



建設機械



4極生産対応による
現地メーカー参入拡大

農業機械



4極生産対応、
CVJ適用拡大

航空機



GE, P&W, R&R, SAFRANへ
日・欧生産能力増強

ロボット・減速機

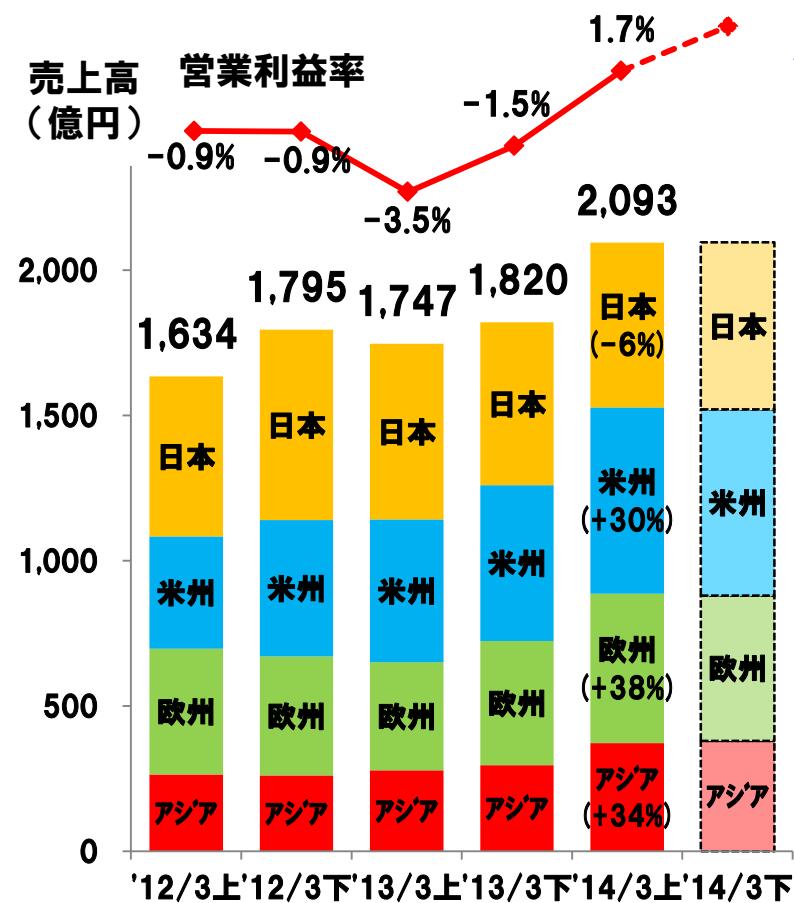


センサー付軸受、
複合材料商品拡大

自動車市場向け実績と見通し

<上期実績（対13/3上期）>

- ・ 欧州メーカーの輸出好調や新規案件による増加、北米ではピックアップ向けも好調
- ・ アジアは中国増加による増加、日本ではエコカー補助金の終了による反動減



<下期見通し>

日本

円高改善に伴う輸出向け増加
新型車両の量産立ち上がり効果

米州

低金利を背景に好調が継続
日系及び米国メーカーの新型車両効果

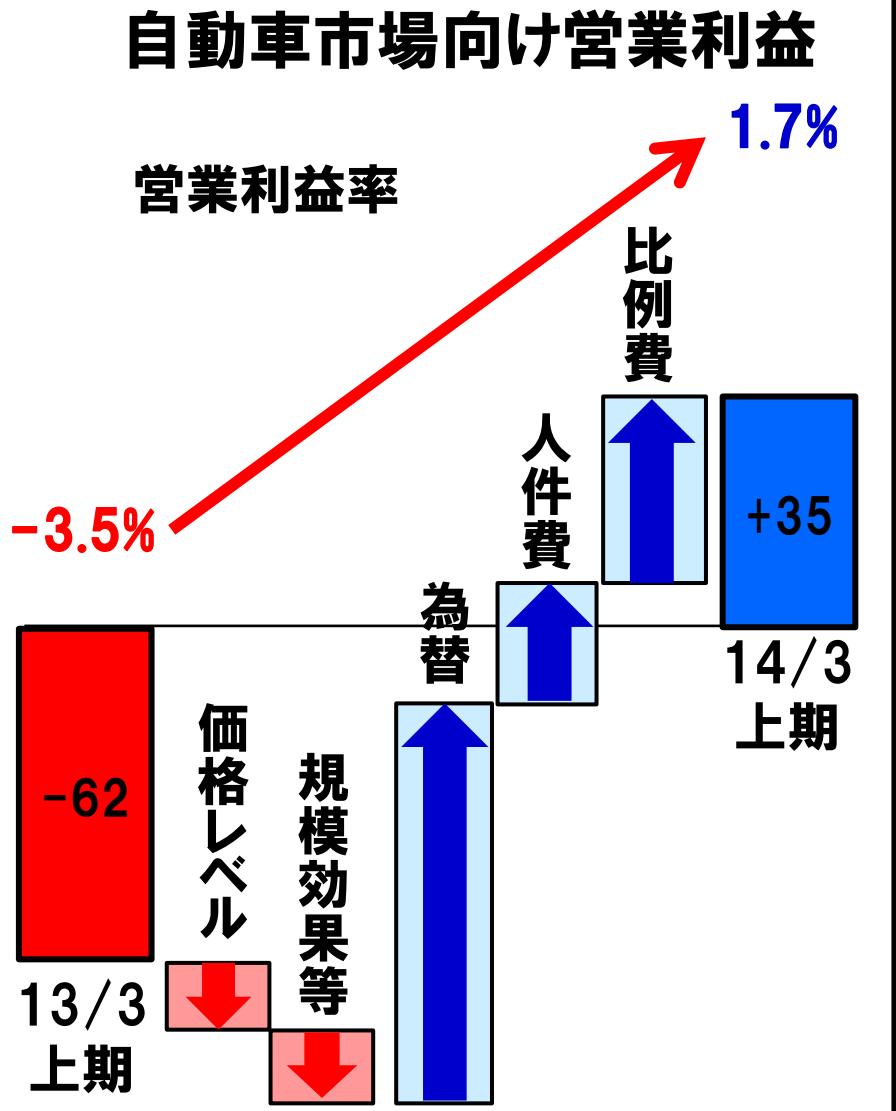
欧州

域外輸出シフトによる生産増加
欧州メーカーの新規案件が増加

アジア

中国自動車生産の増加
中国、インドネシア日系メーカーの新規案件

自動車市場向けの営業利益改善



13年3月期 上期: ▲62億円

+97億円

14年3月期 上期: 35億円

比例費

- ・現地鋼材採用拡大
- ・現地メーカー開拓、現地調達拡大
- ・協力メーカーによる前工程現地化
- ・現地生産拡大
- ・VA／VE
- ・国内内作

固定費

- ・早期退職など

価格レベル

- ・値引き抑制と値上げ

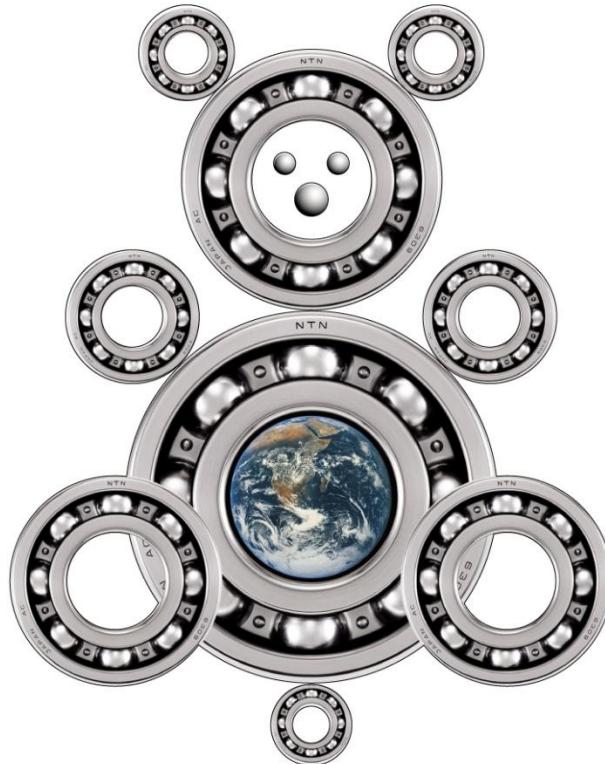
「復活2014」主な施策の効果額

主な施策の営業利益への効果額（計画と上期実績）

(億円)

テーマ	2014年3月期の主な施策	年間 計画	上期	
			計画	実績
経営資源の集中 (比例費部分)	<ul style="list-style-type: none"> ・部品の共通化や設計・製造の見直しによる価格改定、VA/VE、内作化 ・現地調達拡大や前工程の現地生産による海外拠点の比例費削減 	64	22	27
構造改革	早期退職(9月末までに約420名退職)	43	15	15
	物流業務改革(物流子会社を設立)	3	1	1
	小計	46	16	16
緊急対策	固定費削減(人件費+経費)	45	25	24
合計		155	63	67

We make
Bearings.



For New Technology Network

NTN[®]

NTN株式会社
www.ntn.co.jp